



夏休みも終わり、新学期が始まりましたね。今年の夏休みはいかがでしたか？梅雨が長かったので残暑が厳しいとの噂もあり、まだまだ暑い日々が続きます。暑い時期にも、ママのりあに通って下さり、ありがとうございます。

ママのりあは、お子さんのみではなく、ママの気持ちを支援する場所として立ち上げました。お役に立てているでしょうか？ママの気持ちが穏やかで安定していれば、お子さんへのまなざしも暖かく、余裕をもって向き合うことができます。「うちの子って〇〇なところが素敵なの」「〇〇なところが面白い」と、我が子の良いところに目をとめ笑顔で見守ることができます。

でも！毎日毎日365日、休みのない子育て、イライラして当然です。子どもが何を訴えているのか、さっぱり分からない。言っても言ってもいうことを聞かない。思い通りにいかず落ち込むことも度々でしょう。理解してくれない家族や先生。イライラをつい、子どもにぶつけてしまい、ひとり落ち込む…。悶々とする気持ちはひとりで抱え込まず、ママのりあで吐き出して下さいね。職員のみならず、同じ悩みをもつママたちと日々の言い合いや情報共有が一番大切です。お互いに頑張っている自分を褒めてあげましょう。

お子さんにとっても、それぞれの年齢や発達に応じてママのりあ役割は変わってくると思います。手先・指先の機能や、見る力・聞く力など五感を養う支援が重要となる幼児期のお子さん。集団で必要なスキルを身につけるため、自分の気持ちを伝えることや友だちの気持ちに気づくこと、周りの状況や先生の指示を理解し、自分の動き方の支援が必要なお子

さん。児童期を迎え、自分で気持ちよく・心地良く過ごすためにはどうしたら良いか？人との距離や自分の居場所の確保など、自分を律するための支援が必要になるお子さん。やがて思春期、自分を取り巻くさまざまな社会情勢を受け入れ、自分がどう折り合いをつけていくかを考えていかねばならない。その相談に応じたり居場所として安心できる空間を提供する支援が必要なお子さん。

それぞれの発達や学年に応じた支援をあげてみましたが、もっともっと細かく、ひとりひとりに応じた支援ができると思います。管理者の方から半年ごとにモニタリングをさせていただいています。ママたちからお聞きした内容は、必要に応じて、わたしに伝えてもらっています。いつも感じることですが、ママたちがしっかりとお子さんと向き合っている姿勢には頭が下がります。「この子にとって何が必要か！」「この子にとって、どう考えるべきか！」「この子の現状を誰にどう伝えるべきか！」「母として、わたしが助けてあげられることは何か！」は大切な観点です。それを自ら考えて下さっているママたちがたくさんいます。そのママたちに、ママのりあは支えられていることを感謝しています。

コロナの影響で幼稚園や学校の行事は減少されています。通常の年度よりも若干負担が少ないかもしれませんが、2学期のスタートは無理なく、お子さんのペースを尊重し、楽しく過ごせる時間を大切に過ごしていきましょう。

〒252-0324
相模原市南区相武台7-21-5
電話 046-244-4537
FAX 046-244-4538
ママのりあ

10月19日(月) 10:00～
年長さんの保護者会を
聞きます。

